

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田市大町三丁目5-8
ウイング・グラン4
名称 ノリット・ジャポン株式会社
代表者 代表取締役 菅原 久典

ノリット・ジャポン株式会社

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

弊社は『地方の魅力あるモノや文化をたくさんの人に伝え、届け、地方経済の発展に貢献する。』を経営理念に掲げております。
今後も日本有数の地域商社を目指すべく、『多様な人材・働き方』『社会貢献・地域資源』『環境配慮』に取組み、持続可能な地域経済の現実に貢献する企業を目指します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R4年 3月18日</small>	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 環境	女性が働きやすい職場環境の整備、優秀な人材確保のため、場所を限定せず働ける環境（ネットワーク）整備	2021年度 職場内にキッズスペースを整備し子連れ出勤しやすい環境整備 →2030年 テレワークの定着化（30%）、フレックスタイム制の導入	テレワーク環境の整備が進んでおり、一部の業務においてテレワークを試験的に導入しています。今後は、社員の意見を反映しながら柔軟な働き方の選択肢を増やし、定着率を高めることを目指します。	5 8 10
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	自社製品を開発する際には環境に配慮したパッケージの使用、また、地場産品を積極的に利用 お客様への商品提案時にも環境に配慮した素材をSDGsの観点から提案	2021年度 地場の食材を使用した新商品7品以上開発・販売 2030年 お客様との商品開発を通じ、お取引先への意識改革を行う。 自社製品を環境に配慮したパッケージで開発	2024年度には、地場の食材を使用した新商品を10品以上開発・販売し、地域資源の活用と食品ロス削減に貢献しました。2030年に向けては、お客様との共同開発を通じた取引先の意識改革に取り組んでおり、環境負荷の少ない素材やサステナブルな商品の提案を進めています。	9 12 13

<input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	スポーツ少年団への活動資金の寄付や職場体験・インターンシップを受入れ地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供する。	2021年度 地元サッカーチーム（あきスポ）協賛。事業活動への提案 →2030年 年2回以上のインターンシップの受入れや地域活動への参加	職場体験の機会を提供し、実際の業務を通じて学べる環境を整えています。さらに、インターンシップを経て成長した学生をR7年度の新入社員として受け入れる実績を残しており、地域の若者が活躍できる場の提供にも貢献しています。今後も受入れ回数の拡大を図るとともに、地域との連携を強化し、継続的な支援を行ってまいります。	4 11 17
---	---	---	---	---------------

ゴール番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	